

Karuzawa Meeting 2023



軽井沢ミーティング2023～笑顔。逢える。～
2023年5月27日(土)、28日(日)

31回目の軽井沢。

●駐車台数に関する経緯の振り返り

「なぜ抽選なのか」「なぜ倍率が高いのか」といった疑問が、特に初参加を希望した方から聞こえました。vol.105にも掲載しましたが、加筆してざっくり経緯をお伝えします。

2016年:事前申込で1,450台。当日参加が300台近く来場し、会場隣のアウトレット有料駐車場P7を埋め尽くしてしまいました。終了後、アウトレット担当者から苦情を受け、実行委員会では、台数限定での開催を提案し、翌年以降の利用の了解を得ました。地域、まわりに迷惑をかけてまで楽しむことはできない、継続するための苦渋の決断でした。

2017年:「1,100台の台数制限～往復はがきで応募～抽選」で開催。早め、長めの駐車券応募期間を取り、駐車券の当選落選が判明してから人の参加申込を受け付けるという方針で実施。メンバーには2月初旬発行の会報に駐車券応募用紙を同封。公式サイトでは2月中旬から告知を開始。1,180台の申込があり、当日キャンセルの台数を予想、枠数を増やす施策も検討し、無抽選で駐車券を発行。

2018年:「会場内に遊具施設ができて駐車枠が約150台減」という新たな課題発生。レイアウトも大幅変更し、950台の駐車券発行を決定。1,414通の応募があり、初抽選を実施。381台(27%)が落選となりました。

2019年:1050台の駐車枠を設定。1,635台の応募があり、落選は539台(33%)。駐車券がない人は、車両を軽井沢以外に駐車し、電車等で来場すれば当日参加も可能。

2020年:850台の駐車枠を設定。1,419台の応募があり、落選は469台(33%)。駐車券当選しチケットを事前購入した人だけが参加可能。当日券は無し。

2021年:1,100台の駐車枠を設定。1,702台の応募があり、落選は572台(33%)。駐車券当選しチケットを事前購入した人だけが参加可能。当日券は無し。

2022年:1,100台の駐車枠を設定。2,043台の応募があり、落選は913台(44%)。駐車券がない人もチケットを事前購入し、自転車駐場所などの条件をクリアすれば人の参加は可能。当日券は無し。

◆4月16日(2023年第4回会議) 2022年11月、2023年1月、3月に続き、例年ならこの時期の打ち合わせと抽選は軽井沢現地で行い、晴天祈

願にも行くのですが、今年のこの週末は、軽井沢町でG7サミット外相会議開催。軽井沢プリンスホテルがメイン会場、宿泊施設となるため、スキー場などつながっている敷地はもちろん周辺道路も完全封鎖。なんとアウトレットも2020年の連休のコロナ休業以来の全店休業(驚)。実行委員会の打ち合わせなどまったく無理ということが1月末の時点で判明し、MRV(マツダR&Dセンター横浜)に部屋を予約してありました。

5日前の4月11日に平井さんが亡くなったことを受け、5月28日の会場に追悼コーナーを設けることに。貴島さんからの提案で、広島から平井さんの娘さんをご招待することとしました。元愛車の広報車の展示や遺影の額、追悼寄せ書きタペストリーなどの手配も着手。貴島さんと「NDからこの世界に入ったお客さんは平井さんのことを知らない人も多いだろうから、今年だけは、平井さんがいなかったら、この車もこの世界もなかったんだ、ということを知ってもらおう機会を作ろう」と話しました。

2023年も1,100台の駐車枠を設定し、往復はがきでの応募としました。史上最多の2,664台の応募があり(昨年の応募数2,043台から225%増)、落選は1,539台(58%)でした。今年も駐車券がない人も、チケットを事前購入すれば人の入場は可能としました。当日券は用意しません。2024年以降も当面は同様の方法での開催となりそうです。

◆4月23日 晴天祈願。打ち合わせと抽選は4月16日に終わっているけれど、晴天祈願に行かず雨に降ると困る、ということで委員有志で熊野皇大神社へ。晴天祈願を始めてから2022年までの11回開催すべて晴天継続中。熊野皇大神社の水澤宮司は「これだけ晴れが続くともうほんと



に怖いんですけど(苦笑)」とのこと。笑。本殿の奥、ちょっと上がったところの「星乃道神社」(後出)にもお参り。6月にオレンジ色の御神体を奉納するまで、祠の下に参拝客にロードスターのミニカーを奉納してもらおう、と2022年に委員も持ち寄ったミニカーが、ちゃんと少しですが増えていました。軽井沢に行くメンバーはぜひ自分の愛車のかわりにミニカーを持参奉納してください。愛車の交通安全、晴天にもご利益あるはず。

◆5月15日 事務局に揃ったプログラム、チケット、アンケート+食券、ステッカーの組み作業、受理書印刷、折り作業、封入。16日、17日で一気に発送を済ませました。楽しみに到着を待っている参加者の顔を思い浮かべ、できるだけ早くの発送を心がけています。事務局日記P42も参照。16日発送分は例年通り2-4日でほぼポスト投函終了しましたが、17日発送分が3日目になってもいっこうに投函される気配がなく、ヤマトに問い合わせたところ「広島サミットの影響で物流が滞ってます」という回答。結局4日目からやっと投函が始まり、遠方、広島県近辺は投函まで7-8日かかりました。今後、この時期に国内でサミットがないことを祈るのみです。

◆(第5回)開催1週間前の5月21日はオンラインで。当日の天気予報を気にしつつ、事前申込状況などを報告。広島サミット影響でのチケット到着遅延の件も報告。当日の段取り改善、最終レイアウト、天災など危機管理プランなどについての討議がありました。

<事前参加申込状況=最終数値>

5月27日 コマ図ラリー42台(昨年34)、コマ図ドライブ36台(29)、前夜祭215名+子供3(193+5)、宿泊230名(188)

5月28日 ミーティング+大人計2,506名(2,164名)＝一般2,404名+SHOP102名+広報プレス不明、ペダルカー11名(9)、SHOP出店22+ケバブキッチンカー出店、V(ボランティア)スタッフ(委員、pea含め)115名(115)、駐車券保有者参加台数:ロードスター1,096台+ボランティア83台+他車9台=合計1,188台<1P:596台+ボランティア83台+参考:ショップのRSは41台(デモ車含む)、2P:240台、3P:260台+他車9台>

参考:駐車券あり申込者の型式比率(ショップ含まず)ロードスター1,096+ボラ83=1,179台<NA301(294):26%、NB121(151):10%、NC126(124):11%、ND517(464):44%、RF114(100):10%



From Chairman

—2023年—
今年の晴天祈願でいただいたお札から「疫病退散」の文字が消えた。／長い長いトンネルが明けた。／5月のよく晴れた祝日に250キロのソロツーリングに出掛けた。／もちろん幌を畳み、左右の窓も開け放ち、フルオープン。／途中何台もすれ違うロードスター。／手を振り合う。／頬が緩むのに気がつく。／日常がすっかり後方へ流れ去る。／思わず自分のロードスターを抱きしめたいくなる。／ロードスターが好きで本当によかった。4月11日にロードスター初代主査の平井さんがお亡くなりになった。／平井さんがロードスターを作ってくれなかったら、私の人生は違うものになっていただろう。／平井さん。ロードスターを作ってくれてありがとうございます。／これからもずっと大切に乗りつづけます。

軽井沢ミーティング実行委員会委員長 高橋優一

5月27日(土) 晴れ すでに日焼け

●コマ地図ラリー

スキー場駐車場からスタートして、軽井沢近郊のロードスターで走ると最高に気持ちいい道のドライブ、景観やクイズで楽しみ、距離も計算しながらゴールするコマ

5月28日(日) 駐車券がある車両の駐車場への入場～退出方法 & 駐車券がなくチケットがある方の入場方法とご注意

駐車券 人のチケット	第1駐車場の駐車券があるロードスターを運転または同乗。全員が事前申込済み 人のチケットを持参	第2駐車場の駐車券があるロードスターを運転または同乗。全員が事前申込済み 人のチケットを持参	第3駐車場の駐車券があるロードスター/他車を運転または同乗。全員が事前申込済み 人のチケットを持参	駐車券はないけれど、 人のチケットを持っている方
駐車場	第1駐車場	第2駐車場	アウトレット有料駐車場(P7)	駐車券の無い車は、ショッピングプラザや会場近隣の一般駐車場は一切使わないでください。駐車は、観光客、地元イベントへの迷惑を避けるため、軽井沢駅及び中軽井沢駅以外の近隣駅の有料駐車場をご利用の上、軽井沢駅まで電車を利用し、領収書、切符または乗車証明を受付テントにお持ちください。また、軽井沢プリンスホテルや近隣の宿泊施設に前泊の方は、車を宿泊用駐車場でとめたまま、駐車チケットや駐車証明書、受付テントにお持ちください。
クルマの入場口	第1駐車場ゲート	第2駐車場ゲート 公道からの入場入口は、第1駐車場との境目の通路です。8時20分以前は一切入場はできません。	アウトレット有料駐車場(P7)ゲート 公道からの入場入口は、P7の駐車チケット発行ゲートです。8時以前も入場可能ですが、スタッフがいないため500円は受け取れません。	
クルマの入場口の 開門時間	8時00分～9時30分 ※開門以前の会場近辺での路上停車は、一切ご遠慮ください。 ※ゲートは9時30分にて完全にクローズします。	8時20分～9時30分 ※公道の渋滞防止のため、開門以前は、軽井沢町、会場近隣の道路への乗り入れをご遠慮ください。※ゲートは9時30分にて完全にクローズします。	8時00分～9時30分 ※渋滞防止のため、入場開始時間以前は、軽井沢町、会場近隣の道路への乗り入れをご遠慮ください。※9時30分にてスタッフが引き上げます。9時30分以降の入場では、500円は受け取れません。	
共通の注意	人のチケットの無い運転者、同乗者は一切入場いただけません。駐車場は場内速度10km/h以下厳守。			受付テント(メイン会場への人の出入口)の開門は8:20です。受付テントのスタッフに人のチケットと近隣の駐車場を使用していないことを証明するもの(電車の領収書、切符、乗車証明、軽井沢プリンスホテルウエスト宿泊用駐車券チケット、宿泊施設駐車証明等)を提示ください。提示が無い場合、チケットがあっても、入場いただけません。
入場方法/注意	①開門時間中に、第1駐車場入口に車でお越しの上、乗車のまま、ゲートスタッフに、駐車券と人のチケットを提示し、指示に従って入場し、駐車枠に停車ください。	②開門時間中に、第2駐車場入口に車でお越しの上、乗車のまま、ゲートスタッフに、駐車券と人のチケットを提示し、指示に従って入場してください。駐車後は、必ず駐車券と人のチケットをもって降り、受付テントに持参し、提示ください。同乗者がある場合、必ずご一緒に受付テントにお越しください。	③指定時間中に、アウトレット有料駐車場(P7)ゲートで、駐車チケットを取って入場し直進。つきあたり付近のゲートスタッフに、駐車券と人のチケットを提示し、500円と案内を受け取り、誘導に従って駐車してください。駐車後は、必ず駐車券、チケットを持って降り、徒歩で第2駐車場を通過し、受付テントにお越しください。同乗者がある場合、必ずご一緒に受付テントにお越しください。	
人の再入場について	イベント開催時間中、メイン会場(第1駐車場)から、第2駐車場、アウトレット有料駐車場(P7)への出入りには、受付テントを通過する必要があります。会場から出る際には必ず人のチケットを持ち、スタッフへの提示が必要となります。再入場時にも、人のチケットの提示が必要となります。			
車両の途中退出について	イベント開催時間中、第1駐車場から、車両の途中退出は可能ですが、車両の再入場は一切できません。ご注意ください。途中退出は、まず受付テントのスタッフに声をかけて移動して退出ください。退出後、バリケードは元の位置に戻してください。	イベント開催時間中、第2駐車場から、車両の途中退出は可能ですが、車両の再入場は一切できません。ご注意ください。途中退出は、まず受付テントのスタッフに声をかけてください。朝入った公道側通路を通り、ゲートから退出ください。	P7は一般の有料駐車場なので、イベント開催時間中およびその後も、車両の出入りが可能です。ただし料金(入場から2時間は無料。以降1時間ごとに100円)がかかりますのでご注意ください。退出時は、ゲートで駐車料金を支払って、退出ください。なお、P7では一般のアウトレットのお客様も駐車します。駐車場でのご長話、テーブル、いすの使用、フリーマーケットなど、他の通行の妨げになる行為は、遠慮ください。	
閉会後の車両退出について	第1駐車場からの退出:朝入ったゲートからの退出となります。ショッピングモール前の渋滞を迂回するため、全車右折(碓氷峠方向)のみの退出となります。	第2駐車場からの退出:朝入った入口からの退出となります。第2駐車場は16時00分を過ぎると閉鎖しますので、16時00分までの退出をお願いします。		
閉会後の駐車場入場	閉会後は、第1駐車場、第2駐車場への車両の入場は一切できません。車両すれ違いによる事故防止、駐車場占有の防止、会場撤収作業の円滑化のため、ご了解ください。			



Karuizawa Meeting 2023

笑顔。逢える。



霊験あらたか。8時の気温はすでに22℃。午後は27℃の予報。高原なので日差し(紫外線)の強さが半端ないです。会場では高橋委員長、古山くらクラブpeaの面々と共にレイアウトの確認。ステージ前に設定したベダルカーレースのスペース(10m×26m)がいい感じです。テントは昨年並の大小3種類34張り。今年もダスキンレントオール高崎ステーションさんが全テントを設営。休憩用の大テント(5.4m×9m)6張は、3年間椅子だけが並んでいましたが、テーブルも復活しました。ひとつひとつ元に戻ったものを見るたび嬉しくなります。横断幕「マツダロードスターファンミーティング」は、掲示場



所周辺の草木が昨年よりまた一段と伸びて新幹線向きに掲示してもまったく見えないので、今年も会場側に向けて大川くんと杉本さんが掲示。

RCOJテントは小テントを増設=店舗床面積増大し、昨年同様のお店形式。片側に入り口、もう一方にレジと出口。昨年までの入店待ち行列が、他の店舗の営業妨害?になっていたり、なにより、せっかく会場にいるのに、並んでると他を回れないのもつらい。申し訳ないという反省から事前に対策を一生懸命考えました。最終的にはコロナ対策ではなく安全対策のために店内上限10人くらいまでとして、入店時間15分刻みを指定する整理券を製作(山田さんが作ってくれました)、行列が始まったら配りつつ、整理券なしの行列は20人程に制限して、交互に入店してもらってディズニーランドのファストパス方式を想定。松島若葉さん、片桐美鈴さん、事務局Yokoに伝えて相談しました。結局、日曜の入口の入場は松島若葉さんに頼り切りでした(後出)。ほんと助かりました。テントには広島からクッキーやもみじ饅頭も箱で到着。それらの売り場や店内レイアウトも検討しました。

RCOJの隣に出店するケバブキッチンカーも到着。息子さんが作っているジュエリーショップもテーブル出店し、日曜は数万円の売り上げがあった模様。

2023年版の会場内外の看板類は、担当委員が屋内で手分けして整理、貼り付け製作。すでに、2024年は増えすぎた看板を整理しよう、という声も。

テント位置の最終調整、第1駐車場、第2駐車場のパイロン立て、ショップエリアの封鎖ロープ、など、いつもどおり準備。14時過ぎにマツダコレクション担当のマツダエース堀本さんと、ミニカーメーカーの平井さんが到着。NDアウトレットミニカー200台も積んできてくれました。ありがたし。商品への値札付けと、日曜のモデルカーものづくり展示のイメージ合わせも。

三次の30周年ミーティングのPA(音響)関係もやってくれ、毎年軽井沢でも前夜祭と日曜の音響をおまかせしているリンクスの西原くん(0708005)は今年も他の現場があって来れ



ず、三次で一緒に働いてくれた中川くんも到着。電源、スピーカーライン設置など短時間で作業。最後に現場をひとまわりして、17時ちょうど過ぎにホテルへ移動しました。

●前夜祭パーティー

前夜祭パーティーの参加数は昨年より22名増えて、215名+子ども3名。昨年の1テーブル4名の制限はなくなり、1テーブル8名に戻りました。めでたし。テーブル内での会話が格段に増えます。笑顔も増えます。食事はひとりずつサーブのディナー方式。来年は皿に戻すかも。

司会はいつもの9806018片桐美鈴さん、0304002佐々木くんと私水落も参加。開会宣言後、平井さんを偲んで初代の開発コードJ58Gにちなんで、5.8秒



だけ黙祷しました。その後、実行委員紹介、高橋委員長の挨拶と実行委員高木くんによる乾杯。そしていつものマツダスタッフの紹介へと続きます。今年の出張参加者とプライベート参加者10名をステージ上で紹



介。代表して齋藤主査が挨拶。各テーブルで参加者と交流したよう。そして、貴島さんと初参加の平井さんの娘さん河野啓子さんご紹介。参加ありがとうございました。

さっそく今年も仕事や都合で参加できなくなった方から返却されたキャンセル駐車券獲得をかけたじゃんけん大会。前夜祭に参加している駐車券落選者50名くらいが対象で、真剣な笑顔のじゃんけんが12名が駐車券を獲得しました。みなさんに喜んでもらえました。めでたし。

そして、3年ぶりの海外からの参加者紹介。オーストラリア、香港、上海のクラブから全部で13名が参加。4テーブルで国際交流できました。

その後は、小池さん夫妻によるコマ回しラリー表彰。詳細はP35-37を参照ください。今年も参加ステッカーをガルフカラー風にしたので、ガルフオイルさんに



0W-30のエンジンオイルを賞品協賛いただきました。日曜は事務局からもオイルをオークションに出品したところ5,000円で落札されていました。よかったです。



平井さんが亡くなられて、軽井沢の日曜の会場に追悼コーナーを設けることを決めた際、前夜祭では貴島さんに追悼トークをお願いしました。昨年も平井さんの人となりを伝えるトークショーだったことも何かの縁だね、と快諾いただき、その後何度か電話、メールでやりとりしました。「たくさんあるエピソードの写真がたくさん集まったので、スライドや動画メインで説明する形にしたい」ということで「回顧スライドショー」となりました。35分間、開発の苦労やエピソードのたくさんの平井さんの顔、表情を見てもらいました。娘さんの河野さんに感想を聞いたら「私も見たことのない写真がいっぱいあって、泣いてしまいました」とのことでした。貴島さん、ありがとうございました。



じゃんけん大会賞品は、マツダコレクションの100周年記念写真集とポストカード。担当主査の児玉さんからマツダコレクションの説明ももらい、まずは、この日が87歳の誕生日の神子島(かごしま)0710002さんに写真集をプレゼント。次にポストカード争奪じゃんけん大会を佐々木くん仕切りで、いつもどおり。写真集は、昨年飛び入りでじゃんけんクイーンとなって、今回も参加の田中杏奈ちゃん(6歳)が降臨(P23参照)。佐々木くんもじゃんけん参加者もお疲れさまでした。

私の締めは、いつもの「NAサイコー、おー」から始めて「明日も楽しむぞっ、おー!」で21時ちょうどに無事終了。あっという間の2時間でした。

●プリンスホテルウエストツイン、コテージ宿泊

プリンスでの前泊は、昨年同様、事務局で予約受付。ツインは45部屋、コテージは4人、6人、8人用合計20棟ほどを事前にプリンス飯野さんと村上さんに確保いただき、コテージは1棟貸しで予約受付しました。それぞれ4/25頃に前年宿泊実績がある方々にメール連絡。その方々と事務局に直接要望があったメンバーで埋まりました。コテージも最終的にはスタッフを含め30棟を使用。合計230名の宿泊者それぞれが、翌日を楽しみに盛り上がったようです。昔よりは就寝時間が早くなっているのは歳のせい? 笑。

5月28日(日) 12年連続の晴れ!

●朝いちのRCOJテントあれこれ

朝6時に会場到着すると、いつもどおりボランティア数名が到着済み。トランシーバのイヤフォンを着けつつ、前日にイメージづくりしたRCOJテント内の商品並べ。目玉はNDアウトレットミニ

カー200台と、初のクッキー&もみじまんじゅう、そしてMAZDA COLLECTION。

ミニカーは2015年製造のデッドストック。一部の商品に経年劣化でトランクリッドの塗装などに荒れが発生しているため、ミニカーメーカーさんで通販ができなくなり、事務局で引き取ったもの。春プリマ、オアシスmtgでも好評だったため大量持ち込み。目標通りほぼ完売しました。

クッキーとまんじゅうは、マツダと広島企業とのコラボでつくる商品「広島つなごリンク」のラインナップ。2022年12月発売の「PEAcE NUTS×MAZDAピースナッツクッキー」を10個、2023年3月発売の第二弾「にしき堂×MAZDA特製饅頭&もみじ詰合せ」を90個、4月発売の第三弾「アンデルセン×MAZDA広島ピースフルドライブクッキー」を60個。それぞれ広島でも人気でなかなか手に入らないものを1ヶ月前から予約し一堂に。食品なので賞味期限があつて売れ残りリスクもありましたが、それぞれ缶やパッケージ、クッキーそのものにこだわった商品は、おみやげにもよくだらう、と大量仕入れ。RCOJオリジナルロードスタークッキー40セットも加え、こちらも売目録。ちょっとお値段高め(4,000円)だったアンデルセンのクッキー20缶を残し、完売しました。アンデルセンクッキーはその後、通販、東海ミーティング、広島フリマまでなくなりました。めでたし。

MAZDA COLLECTIONは、マツダオフィシャルでつくるちょっといいもの。ミニカーやグッズを本社のマツダミュージアムショップ、マツダファンフェスタ、オートサロンなどのイベント会場での販売と、通販でのみ展開しています。以前から「お客さんがなかなか実物を見たり触れたいので、ロードスターのイベントにも持ってきて見せたら? 買いたい人もいるだろうからRCOJブースで扱おうか?」と伝えてましたが、今回、本社と東京からも担当チームが参加するのを機に、実現しました。100周年記念のNA、NB、NCミニカーや、革製キーリング、バッグやマスキングテープなど記念のおみやげになるものも人気でした。ロードスター展、中部、ジャンボリーなどで販売予定です。お楽しみに。

6時半頃、大関くんが展示車の990S、齋藤主査が平井さんのNA6で到着。初代主査のNA6を軽井沢まで現主査が運



転して届けるというストーリーは貴島さんからの提案でした。これも平井さんへのたむけになると思います。展示位置、待機位置を決め、大関くんが拭きあげ。ステージ前部の斜め前のテントでは、いつもの純正復刻パーツ展示とともに、MAZDA COLLECTIONチームによる欲しいもの寄せ書きやモデルカーものづくり展示などを準備。同じテントの中に、高木くんが平井さん追悼寄せ書きタペストリーを3枚セットしてくれました。

熊野皇大神社副社「星乃道神社」御神体は本部に置きました。6月11日には御神体を奉納。別枠内を参照ください。

●ボランティア集合、ショップ入場、一般入場

7時からは総勢110名(昨年とほぼ同数)のボランティアミーティング。マツダからは齋藤主査、



杉本さん、松岡さん、山口宗さん、家代岡くんもボランティア参加した模様。

宗さん曰く「軽井沢の醍醐味」です。いつもどおり、ピブスも配布。朝食としておにぎり2個(2022年までのお弁当屋さんが廃業し、別店舗で手配。サイズ、味付けにイメージ相違があったので来年は要打ち合わせ(苦笑)とお茶も配布。高橋委員長のボランティアへの感謝の挨拶、担当実行委員大古くん作成の分担当でそれぞれの持ち場を確認してリーダーのもとで打合せ。

7時30分までの間、22店舗(昨年同数)のショップさんが入場。第2ゲートでのショップ入場対応は松島夫妻。場内では私がショップ対応。常連さんばかりなので、ほとんど問題なくショップ入場完了。その後松島夫妻は昨年まで担当したコロナ対応業務(検温とかチェックシート回収)がなくなり、RCOJテントのヘルプに回ってもらいました。ありがとう。

RCOJテント内の準備をしているうちに、第1駐車場のゲートオープン8時。事前の苦労が報われる瞬間。渋滞緩和のため、第2駐車場は8:20から入場開始。第2駐車場の2ゲートの受付テントでは、今年も駐車券なしでチケット持参の方々の来場手段チェック。ほとんど問題なく済みました。2ゲートと本部のテントでクレデンシャルケースは1,019個をチャリティ販売しました(募金総額135,925円)。

8時過ぎには、第1駐車場に入場した9806018片桐美鈴さんと博也さんがRCOJテントに到着。松島夫妻、事務局Yokoと共に、最終の商品陳列作業を進めます。片桐博也さんは、RCOJの旗の前でいつものメンバー記念撮影担当です。

●開会式

10時からおなじみ実行委員の浜島くんの司会でスタート。高橋委員長とのハイタッチ(High Five)の演出後、委員長からは今年も涙を誘う挨拶。参加者から自然に湧き起こる励ましと感謝の拍手でもらい泣きます。出張、プライベート参加ありませ、マツダスタッフの紹介。代表して齋藤主査からも挨拶。平井さん追悼コーナーとともに、貴島さんと河野さん(平井さんの娘さん)も紹介しました。



Karuiyawwa Meeting 2023



●ショップオープン

開会式終了と同時に場内2箇所のショッピングストリートもオープン。RCOJテントは、入店行列を減らし、参加者に時間を有効活用してもらうための15分刻みの整理券配布によるファストパス方式。松島若葉さんに入口担当、行列最後尾担当は昨年同様西川さんをお願いしました。行列が始まった後方の方々に整理券を配りつつ、整理券なしの行列は20人程に



制限して、整理券保有者と交互に入店してもらう方式を想定していましたが、若葉さんのおかげで、とてもいい感じにできました。ほんとにありがとう。予想通り店内は10人くらいが限界。片桐美鈴さんと事務局Yokoのレジ2人体制に、最初は私も加わってたくさんのお客さんに笑顔でお買い物してもらえました。RCOJテントだけいつも行列ができる理由は、他のショップさんがややハード(車の部品)寄りな商品展開なのに対して、RCOJだけがTシャツや帽子、Bow.さんの絵のバッグやキーホルダー、ミニカーやグッズなどのソフト商品が多いからなのです。今年は3,000円~3,520円のTシャツは軽井沢特価2,500円均一で販売し、ほぼ完売。帽子も180個が完売し、今年も「もっと持ってくればよかった」とひとりごと(笑)。お買い上げありがとうございます。帰りのプレマシーはスペースがたかさんありました。

RCOJテントには買い物しない(笑)メンバーもたくさん来訪。ずっと、テントまわりで話せました。ひなたでの楽しい立ち話のおかげ?で、数日後、額と耳の皮が...苦笑

昨年引き続き、RCOJ隣のケバブ屋さんのキッチンカーではソフトアイスがかなり売れたもよう。アウトレット内のキッチンカーにも参加者が結構来てくれているようです。私も軽井沢に行くときは寄っています。

●ペダルカーレース

ショップオープンの頃、ステージテント前方のスペースでは軽井沢の象徴、ペダルカーレース開催。子供たちの笑顔とそれを見守る大人たちの優しい眼差しに癒されます。5歳までしか参加できない



このレースに、今年は11名が参加。うち8名の5歳児さんたちは来年は参戦できないので、経験者も少ない来年は勝利のチャンス?笑。

●初心者ツアー(来年のタイトルはロードスター・ツアーズ?)

一方、RCOJテント隣の休憩テント前には、70-80人の人だかり。今年トライアルで実施した「初心者ツアー」でした。プログラムには「軽井沢初参加、初心者、ミーティング初心者の方々のために、5月28日の開会式終了後、本部テント前から、場内(ショップ、駐車場など)を30分程度のツアー形式で廻り、楽しみ方をお伝えする初心者ツアー」をトライアル実施します。初参加者どうし集まると、そこにもう知り合いの輪ができるというツアーでもあります。事前申込は不要です。人数が多過ぎた場合はグループ、時間で分けるかも。」と記載してました。準備、段取りは担当の高木くんにかかせてましたが、想定していた参加



者数は30人くらいだったので本人も唖然。これはやばい、と急いで本部から拡声器をとってきて渡したり。実行委員の五味さんが急遽アシストしてくれたので、おまかせしてRCOJテントに戻りました。結局3組に分けて2組は30分後、3組はその40分後にスタートとなりました。高木くんお疲れでした。ツアーへのニーズを体感し、反省会でいろいろ改善点も上がったので、来年も楽しみです。

●トーク第1部

11時からのトーク第一部は、まずは平井さん追悼コーナーで、貴島さんのお話。追悼書き置きタペストリー3枚は感謝の言葉で埋まりました。河野さん(平井さんの娘さん)も、たくさんの参加者の平井さんへの気持ちを見聞かして感激されてました。

次にMAZDA COLLECTIONチームのリー



ダー児玉さん(2002004)を中心に、商品の紹介と今後の計画のお話。NAの限定車ミニカー企画と来年35周年に欲しいグッズなどをホワイトボード、寄せ書きで集めました。レポートは後出。

午前のラストは、伏見くんと西岡さんによる純正復刻部品、NA6レストアの現状報告。アンケートも実施。後出。

●ランチ&全景空撮写真

昼食は、今年も群馬のお弁当屋さん「登利平」さんのお弁当3種類。11時前から昼食券と引き換え。お昼どき恒例の集合全景写真撮影は今年もドローンで。これも晴天ならではの、12年連続晴れの功勞者水澤さん(熊野皇大神社の神主さん)も立ち寄ってくれました。皆から晴れの感謝を伝えられ「ほんと毎年、降ったらどうしよう、と怖いっす(苦笑)」とのこと。6月には星乃道神社に御神体を奉納しました(後出)。来年の晴れも心からよろしくお祈りしますよ。

●トーク第2部

午後のトークはまずは山本さん(1512008)、中山デザイン本部長(1312001)、山口宗さん(1704001)によるNDのデザインができるまでの話。次は山本さんと齋藤主査(ジルコンサンド990Sを購入したのでそろそろ入会するはず。笑)が入替わり、デザイン本部松岡さん(2302008)、商品本部杉本くん(2107004)、国内営業大関くん(0209011)が加わり、NDの今後とNEの展望トーク。司会の浜島くんからの質問をかわしつつ、かなりいろいろ核心?にも触れたよう。6月で990Sの受注は終了、しばらくロードスターの受注は中断して11月には今年のモデルに移行、マツコネのモニター大改良といった話もここで公表されました。そして2リッターは?NEは?ステージテント前に集まった参加者の真剣な目と笑顔が印象的。最後は中山さんが「今後なが出てきても出てこなくても、乗りたい今乗って早くしあわせになりましょう」とまとめて、拍手喝采でした。

●抽選、チャリティオークション~閉会
チャリティオークション&抽選会も実施。ショップさんから提供いただいたハード系商品のオークションは、RCOJテントに行列ができるのと同じ理由でなかなか値段が上がらず、でした。来年の課題です。最後は、高橋委員長のおいさつ。恒例の「家に帰るまでがミーティングです」を聴いて、無事終了したことを実感。浜島くん、今年も臨機応変な素晴らしい司会進行。1日お疲れでした。

閉会后、参加者の見送りとかたづけはいつもどおり着々。矢印看板などのパネル類は、杉木さんがペダルカー3台とともに軽トラで持ち帰ってくれました。その他委員もスタッフも担当場所の片付けを済ませたあとは、日焼けして疲れているけれど充実の笑顔で集合写真を撮りました。お疲れさまでした。

●反省会

すでに6月には実行委員会の反省会を開催。今年も大きな問題は起きませんでした。来年に向けての課題も出てきています。ひとつひとつ改善積み重ねていきます。とはいえ、ミーティングは参加者とボランティアスタッフの皆さんの協力があって初めて成り立っています。感謝です。これからもこの場所で続けていくための改善点、提案がありましたら、事務局まで連絡ください。軽井沢ミーティングは、今年でもこれからも参加者みんな、創り続けます。

●軽井沢ミーティング2024~笑顔。逢える。 Roadster 35th anniversary~

来年2024年は5月25-26日の開催です。プリンスホテル、スキー場駐車場も予約済みです。駐車券も、今年同様、2024年2月中旬から4月中旬の間に、往復はがきでの応募、抽選になると思っています。詳細は2024年2月発行のvol.111でお伝えしていきます。

2024年はロードスター35周年の節目。5年先の40周年に軽井沢から、みなで想いを馳せましょう。

●2023年の最終参加数

事前申込時不明だったメディア16名を加え、参加者総数は史上1位の2,537名(過去の最多記録は2016年の2,402名)。●実際に確認できたロードスター(ボランティアスタッフの手カウント)は1,157台(昨年1,070台)。●内訳は、NA:25%(昨年26%)NB:11%(13%)NC:10%(11%)そしてND+RF:54%(50%)でした。着実にNDとRFの比率が増えています。それは時の流れです。でも、今年もドローンの映像で見ると、4世代の区別がつかず。ときどき「型式別の駐車券」という声も聞こえますが、実行委員会では4世代が混ざって駐車することをよしとしていますから、今後も型式別の駐車券はありません。型式の区別も差別もない、だから続いているのだと思っています。

●2023参加者アンケート

回答総数史上2位1,546枚、回収率61%の結果を一部ご紹介(最多は2022年の1,694枚、80%)●初参加の割合42.4%(過去最多は2022年の41.7%)●仲間参加の割合が減り、個人参加(1-2名)増加傾向継続中。●感想、意見(フリーアンサー):今年も「感謝、感動、楽しい、圧巻、圧倒された」のキーワードが多数。スタッフへの感謝が一層増えた。●駐車券が落選しても参加できることを歓迎された。●子供の運転で参加という夢はもうたくさん叶い、孫の運転で参加が増加中。●ひさぶりの参加も増えている。そんな人生のストーリーが年々増える場になっている。●希望全車の参加のために、年2回開催、会場変更(苗場など)、土日2日間開催の提案が今年も数人あった。大多数は、「ここでずっと続けて」と継続を願う声。●実行委員会が考える軽井沢ミーティングの会場はここだけです。年に1回、たくさんの笑顔にここで逢う、そのための改善、努力をこれからも続けていきます。

<飯野さん感謝>

1996年、会場を軽井沢プリンススキー場駐車場に移した時からずっと軽井沢ミーティングを担当いただいた飯野さん(軽井沢プリンスホテルウエスト営業課)が、2023年6月で退職されました。委員会と事務局(水落)からの様々なわがまま無理難題のほとんどに耐えてくれたつ、ときに「それは無理!」と明快に答えてくれた(笑)。マツダスタッフと我々ユーザーの関係同様、ホテルとお客という立場を超え腹を割っている話せたからこそ長いおつきあいができたと思っています。反省会翌日、ホテルで花束と委員会のブルゾン、そして一時期NBユーザーでもあった飯野さんの絵を松島さんが描いた絵とブチアルバムを贈りました。また、来年には降は永年VIPとしてご招待することに。今の軽井沢と一緒に創ってきたい大切な同志です。ほんとにありがとうございました。



<マツダ関係 出張参加者(一部プライベート自車自走参加もあり)>

●日は日曜のボランティアも
商品本部主査・斎藤茂樹 / 商品本部プロジェクトマネージャー・杉本学 / カスタマーサービス本部主査・児玉真也 / 初参加 / カスタマーサービス本部・伏見亮 / デザイン本部部長・中山雅 / デザイン本部カラー&トリムデザインGr・松岡信宏 / 初参加 / デザイン本部・山口宗則 / 国内営業本部国内商品マーケティング部・大関卓也、家代岡洋平 / 初参加 / マツダエース・堀本弘臣 / 初参加 / マツダエースのミニカーメーカー インターアラド・平井一明 / 初参加
日曜参加9名: デザイン本部ブランドスタイル統括・中牟田泰 / ブランドスタイル統括部東京オフィス・木村幸奈 / 初参加 / 寺島裕紀 / 初参加 / 菊池由美子 / 初参加 / 小川英津子 / 初参加 / カスタマーサービス本部・西岡勝則 / 國本拓也、村中一成 / 初参加 / 国内営業本部国内商品マーケティング部(T)メディア対応・田中秀昭
日曜だけプライベート参加: OB藤原清志夫妻、山本修弘夫妻 他にも、マツダプライベート自車参加多数あり

<軽井沢熊野皇大神社 副社「星乃道神社」に御神体奉納>

2021年10月から出張神社として1年半全国のミーティングに行動した御神体、6月11日に、星乃道神社の祠に納めました。奉納にあたり、軽井沢実行委員会とRCOJそれぞれから10万円を納めました。各地で5,000円以上の寄進により記載された方々のお名前とともに、祠の近くに木札などに記載して掲出いただけることになっています。また、クラブステッカーを貼ることができる板も今後、用意されます。祠の下には、ロードスターのミニカーやチョコQなどを納めることができますので、これから参拝に向かう方はぜひ持参を。皆さんのお祈りが、来年の軽井沢だけでなく各地のミーティングの晴天、交通安全につながると信じています。

<軽井沢ミーティング実行委員会からの寄付>

●JCV:「世界のことにもワクチンを」日本委員会への募金 289,218円+426,119円=715,337円

こどもたちの未来の夢をかえる活動の一助となれば、と、2008年から寄付を継続しています。寄付金額は、2022年まで、その年の参加人数に、MMR<はしか、おたふくかぜ、三日はしかのワクチン3点セット>の金額114円を乗じて決定してきましたが、昨今の経費高騰により、MMRワクチン価格もほぼ倍額の225円となりました。その金額を参加人数分寄付するのは難しかったため、2023年度以降も参加者1人あたり114円の寄付を継続することとしました。参加者2人でも子ども1人分のMMRを寄付する形になります。参加者の皆さんが楽しみながらできる活動として、今後も、毎年寄付を継続する予定です。●今年2023年の参加人数は2,537名でしたので、2,537名×114円=289,218円を、参加費とチャリティオークションの売り上げ(85,000円)から寄付しました。●また、会場内でのクレデンシャルケースのチャリティ販売募金は、2019年までは災害義援金として寄付しました。2020年以降、寄付先を継続検討中でしたが、2020年から今年2023年までの合計で426,119円と、大きな金額になってきたため、今回からはJCVに寄付しました。●ちなみに2008年から今年までのJCVへの寄付総額は約370万円。3万人以上のこどもたちにワクチンをプレゼントできたことになりました。

●マナー再考

今年は、日曜朝、軽井沢警察署から「プリンス通りの動画撮影が、急減速の原因となって危険」という通報があった、と電話をもらいました。スタッフに自転車現場に行ってもらい、声かけをしたところ、皆撮影を中止してくれたようです。事後の挨拶(連絡)に行った際、それ以外の苦情は一件もなかったと聞きました。参加者みんなが、軽井沢ミーティングの継続を願っていると思います。実行委員会が30年以上積み重ねてきた試行錯誤は、すべてその継続のためです。継続することが社会的使命とまで思えたりしています。まわりで迷惑と感じさせることが起これば、継続は危うくなります。ミーティングだけではありません。このクルマと仲間イメージを下げてしまいます。これを機に、また皆で考え続けたいと思います。



<軽井沢はスタッフも楽しめます。>

軽井沢ミーティングは、単一車種で毎年実施するイベントとしては世界最大規模。でも、主催はマツダでもなく、大きな会社でもありません。関東圏のクラブ他有志(2023年は18名)による「軽井沢ミーティング実行委員会」の主催です。毎年お伝えしていますが、RCOJの主催ではありません。委員会から、問い合わせや参加申込のフルタイムの窓口運営業務を、RCOJ事務局が受託しています。

委員会では軽井沢ミーティングの規模を大きくすることを目指しては来ていません。開催についての告知は、本誌と公式サイト以外ではほとんどしていません。当日のボランティアも含め、参加者といっしょに自分たちも楽しむ場を作り続けること、その目的のために重ねてきた改善が、結果として参加者の増加につながって来たと思っています。もちろん、ロードスターを継続生産してきたマツダのおかげでもあります。ユーザーとの交流で得たものが次のモデルに活かされてきたこともその要因です。

実行委員は、各々が担当業務のリーダーとなり、当日はそれぞれの委員の仲間や一般参加者のボランティアスタッフの協力を得て軽井沢ミーティングが運営されているのです。



これも何度もお伝えしてきましたが、軽井沢ミーティングでは、実行委員も含めすべてのスタッフが一般参加者と同じ参加費を払っています。もちろん委員やスタッフに人件費が払われることは一切ありません。日曜早期の駐車誘導ボランティアには駐車枠が確保され、朝食としておにぎり2個とお茶と、ボランティア缶バッジが配られます。仕事で来ているわけではないからこそ、委員もスタッフも一般参加者と同じように楽しめるのです。一般参加者より早起きしてちょっとだけ眠いスタッフの元気の源&報酬は、参加者からの「楽しかったです。」「お疲れさまです。」「というひと声と笑顔、そしてミーティングを一緒に創っているという自負です。

2023実行委員会(50音順)内は主担当)
 9605133大川恵一(1P川側内誘導駐車)、0510010大古哲生(1P中央内誘導駐車、ボランティア監督)、0005027岡田直紀(1P誘導駐車)、9706004加藤誠(コマ図、3P=P7内)、9604284小池清隆(コマ図、2P入口誘導、本部救急)、1607007五味俊夫(1P誘導駐車)、9612025古山英洋(会場レイアウト全般、第2ゲート受付)、0804007佐藤陽介(1P入口路上碓氷峠側)、9704012新藤日出雄(本部業務)、9606031杉木敏治(3P=P7入口路上)、1004010高木亮佑(1P入口路上プリンス通り側)、9605117高橋優一(会場レイアウト全般、



第1ゲート受付)、1204002奈良輪康弘(1P山側内誘導駐車)、9605008浜島秀和(司会)、1507013松島輝秋(SHOP対応、1P誘導駐車)、松島若葉(SHOP対応、1P誘導駐車)、事務局・水落正典(事務局、進行全体)、9605054吉田雅彦(司会サブ、本部)

2023運営協力スタッフ(敬称略順不同) 同じ参加費を払って、実行委員のもとで業務分担しつつ、全員が他の業務にも協力します。彼らボランティアスタッフにも支えられて、軽井沢ミーティングが成り立っています。皆、ロードスターを愛する仲間です。ちょっと早起きして来てくれる当日朝の駐車場誘導スタッフは黄色のビブス(メッ



シュのベスト)を着用しています。「おつかれさまです」のひと声で、みんなしあわせになれます。2011年から新たに「ボランティア缶バッジ」を製作配布しています。これは、ボランティアの皆さんへの感謝の気持ちと、本人が誇りに思えるような参加証として作っています。ボランティアとして参加するたびに勳章のように胸や帽子に増えに行くよう、毎年デザインを変えて製作しています。

●日曜の駐車誘導ボランティアはここ数年、経験者とその紹介者のみで運営しています。早起きの分、第一駐車場に専用スペースが用意されます。RCOJメンバーで新たにボランティア参加希望の方は、2024年1月末までに事務局まで連絡ください。ただし、応募多数の場合は、全員がボランティア参加いただけないこともありますのでご了解を。●コマ図:高山悌二、河村吉架、小池つる子、町田健二、鳥取正樹、田中由美子、山内瑞子●前夜祭:片桐美鈴、佐々木辰雄●前夜祭&日曜撮影:片桐博也、片桐久文、松田健資●前夜祭&日曜音響:中川大輔●本部対応:高原浩一、中村守康、丸島健介●日曜受付:池田勤、伊沢良二、大川靖宏、大川敦子、鈴木和則、高橋亮馬、永山勉、永山直人、野口正貴、平野正幸、横沢慎一●日曜ドローン撮影:伊藤吉孝●駐車誘導:浅香智、天沼重明、荒井和彦、飯島利彦、金井広行、金井佐代子、川端博昌、北爪紘平、北爪智秋、正田哲雄、瀬下亨一、高田光隆、高田悠平、滝沢勇、田口武、田谷野寛之、中曾根英雄、水村哲、小高芳彦、金沢芳典、金田拓也、黒尾晃、坂本聡、坂本久美子、杉崎真、鈴木由美、鈴木清美、外山博章、二階堂葉、松永晃一、間宮智将、山崎浩之、青谷修二、浅海公司、阿部義孝、湯浅恵子、一宮亮、岩田靖史、糸井慈、上田良平、牛山天晴、牛山美咲、海老原健太郎、太田寿一郎、岡田千枝子、小澤かずこ、片居木康成、菊地太郎、菊地文子、後藤大輔、小林耕史、齋藤茂樹、齋藤誠、佐藤弘幸、栗石将太、白根宏希、大矢梢、杉本学、瀬端宏之、棚橋誠、棚橋美紀、手塚正臣、富田佳光、富田洋美、西川佳男、長谷川浪次郎、疋野繁、田端治江、藤井和人、松島若葉、村上晋、村上智美、村上友哉、安野亨、山口宗則、山本正人、望月真由美、吉野伸好●その他、当日手伝ってくれたボランティアスタッフの方々。他の参加者の楽しみのために動くことも楽しんでくれました。おつかれさまでした & ありがとうございます。



クラシックマツダ & マツダコレクション

軽井沢2023レポート
マツダ(株)カスタマーサービス本部 村中一成

●はじめに
 今年のマツダブースでは、例年のクラシックマツダの展示に加え、欲しいロードスターグッズアンケート、モデルカーアンケート、モデルカーものづくり展示、MAZDA JOURNEYの展示をさせていただきました。これらブースへたくさんのご来場とアンケートのご協力をいただき、誠にありがとうございました。当日参加された方、参加できなかった方にもマツダブースの雰囲気を感じて頂けるよう、展示内容やアンケートの結果についてご報告したいと思います。

<クラシックマツダの展示>
 クラシックマツダでは、例年同様に復刻部品の拡販とお客様のご要望を伺うため参加しました。今年はマツダコレクションが同じブースに加わったことで、NAロードスター以外のオーナーの方たちにも立ち寄っていただき、我々の活動を広く知っていただく機会になりました。また、毎回訪問いただく常連?のお客様やメディアの方々、これからの部品の復刻について意見交換でき有意義な1日でした。部品のトピックですが、復刻ではなく新車当時より継続して生産しているハーフカバーをご紹介します。本サービス開始以来、何十台と車を見させていただく中で普段の保管環境が重要と再認識し、春に開催された南九州ロードスターミーティングから展示しております。この機会に是非ご検討ください。
 (カスタマーサービス本部 伏見)



<欲しいロードスターグッズアンケート>
 来年35周年を迎えるロードスター。オフィシャルグッズを企画し、お客様と一緒に盛り上げて行きたいと考えています。その第一弾として「あなたの欲しいロードスターグッズを教えてください」と題し、ホワイトボードにフリーコメントを書かせていただきました。約180件のコメントの中からカウントしたトップ3は、1位:ドライブングシューズ、2位:腕時計、3位:キーホルダーでした。その他コメントの中に多くあがっていたのは、トートバック、キャリアケース、ぬいぐるみ、アクセサリー関連など。これら以外にもたくさんの熱い思いをいただいております。今後のグッズ企画開発の参考にさせていただきます。またグッズ以外のコメントもたくさん頂戴しており、これら情報は用品チームやクラシックマツダチームへも展開し、今後の開発に役立ててまいります。ちなみにこのホワイトボードには、本ミーティングに参加した元NCチーフデザイナー中牟田さん、元ND主査兼チーフデザイナー中山さん

もイラストを描いて頂いていましたが、皆様お付きになられましたか?最後に、これらアンケート結果をもとに更に幅広いアンケートをWeb経由で2種類実施しています。皆さまの熱いご意見を是非聞かせて下さい。下記QRコードからご確認ご回答をお願い致します。

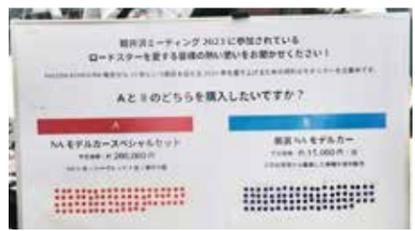


①ロードスター 公式グッズアンケート



②ロードスター 公式モデルカーアンケート

<モデルカーアンケート>
 ロードスターモデルカーのアンケートでは、「どちらを購入したいですか?」 A:Sパッケージ4台・Vスベ1台・リミテッド11台+特典付スペシャルセット販売(20万円/セット) B:全16台から厳選したモデル販売(1.5万円/個) という投票形式でアンケートを実施し、合計186名のお客様にご協力をいただきました。結果は均衡しましたが、A:46%、B:54%と、Bが僅かにリードする結果となりました。ちなみにBの人気1位はVスベ28%、2位はリミテッド8%、3位 Sパッケージシルバー6%、4位以下はほぼ同率で人気分散している形となりました。



<モデルカーものづくり展示>
 こだわりと工夫を随所に盛り込こんだ、マツダ監修モデルカーの開発過程のサンプル品をご紹介します。手に取って頂いたお客様からは、まじめなマツダのもの作りの姿勢が10cmたらずのモデルカーにも凝縮されています



ね、メーカー監修モデルカーだからこそ実現できる領域ですね、などと言った嬉しい言葉をいただきました。これからもマツダのもの作りの姿勢を大切に、お客様に喜んでいただける商品を提供できるよう努めてまいります。

<MAZDA JOURNEY 展示>
 昨年末より販売を開始したMAZDA JOURNEYのポストンバックとクッションブランケットを展示し、多くのお客様に直接手に取って頂き、質感や感触を体験していただきました。さらに急遽ステージにも上げらせてもらい、主査やデザイナーから商品の拘りや開発秘話をご紹介しました。なお、本商品はご好評いただき完売となっておりますが、6月からオンラインショップ、ディーラーを通じて販売を再開しております。詳細につきましては下記QRコードからご確認ください。



●最後に
 私はMAZDA COLLECTION企画チームとして初めて軽井沢ミーティングに参加させて頂きました。当日朝、軽井沢駅に降り立ち、目の前の道路が一面ロードスターで埋め尽くされた光景を見た時は、圧倒されたと同時にマツダで働く人間として非常に嬉しく誇らしい気持ちになりました。また、マツダブースでのアンケートでも皆さまの真剣な思いや熱い気持ちをたくさんいただきましたので、これら貴重な情報は今後のグッズ企画開発の参考にさせていただきます。参加者の皆様、そしてミーティングの準備や運営に携わってくださった関係者の方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

マツダ(株)カスタマーサービス本部 村中一成